

本事業の概要（R6年度版）

- 背景：マイクロプラスチック（MicP）の生物・生態系への影響が懸念されているが、その有害性やリスクを可能な限り定量的に明らかにすることが必要
- 目標：MicPのばく露・環境中運命、水生生物に対する有害性等に関する科学的知見を収集した上で、生物・生態系への影響を定量的に把握すべく、リスク評価手法案の確立を目指し、将来的に行政の判断材料となるリスクを見積もる（MicPの生物・生態系への影響に関しては、粒子による影響と化学物質による影響が懸念されているが、本検討では主に水生生物への粒子による影響を対象とした※）

